



種 別	国指定 重要文化財 (彫刻)
名 称	もくぞうあみだによらいざぞう 木造阿弥陀如来坐像
員 数	1躯
大 き さ	像高:87.2cm
指定年月日	大正4年3月26日
所 有 者	常念寺
所 在 地	むつ市田名部町4番8号

貞享3年(1686)に京都の大本山清浄華院より拝領した坐像である。

檜の寄木造りで、漆箔を施している。台座、光背、額の水晶は後から補ったものだという。

平安時代末に造られた、穏やかで整った表現を見せる等身大の像は、安置する常念寺の昭和43年に起きた火災からも守られ、現在に至っている。

大正4年国宝に指定され、文化財保護法が施行された昭和25年、重要文化財の名称に統一されている。